

5. Soya村の手堀浅井戸跡の整備(ケニア)

- 実施団体: Ufanisi Support Group (USG) (#188)
- 実施地: ケニア ブンゴマカウンティ ブンゴマセントラル県 カブチャイ郡 キシワB区
ソヤ共同体 ソヤ村
- プロジェクト予算: 1,710ドル(JWFファンド1,500ドル、受益者210ドル)
- 受益者数: 750人(男性125人、女性125人、子ども500人)
- 実施地の水問題:

ソヤ村の125世帯にとって、水問題は生存を脅かす深刻な障害である。村に唯一存在した水源は手掘り井戸で、各世帯から25メートル～1.5キロメートルの場所にあった。ところが側壁が不十分で、放棄された。現在、村の世帯はすべて、3.5キロメートル離れた隣村のすくい取り用の穴(scoop hole)に頼らざるを得ない。そこには、雨水の滞留水しかなく汚染の恐れが高く毎年村人の85%が水系感染症にかかる。



隣村のすくい取り穴での水汲み



放棄された手掘り井戸の現状



あるソヤ村人と家、受益者候補

- 主な活動内容: 井戸堆積物除去、水文調査に基づきさらに7メートル掘削。セグメント型側壁カルバート、水受け・手押しポンプ設置、水質検査。WASH啓発活動の実施、水利用者委員会の結成。
- 特長(持続性): 15名の女性メンバーで構成される水利用者委員会による運用や修理・保守管理、直接受益者から年間10米ドルの負担金徴収と会計処理WASH(飲料水・衛生・衛生習慣)啓発セッションの実施。
- 実施団体: ケニア西部Kisiwa B区で活動する、政府登録非営利団体。農村部貧困層に対し、保健・水と衛生・経済的エンパワーメント・教育支援活動を通じて、健康障害・極度の貧困・非識字問題からの救済と保護を行う。JWFファンド2021実績あり。